



平成19年12月14日
水道局

近代水道創設120周年記念事業の実施状況について

近代水道創設120周年記念事業は、開港150周年事業のプレイベントとしても位置づけ、平成19年4月21日から7月1日まで横浜美術館で開催された「水の情景—モネ、大観から現代まで展」への特別協力を皮切りとして、11月29日の「小雀6号配水池の完成」まで、合計14事業を実施してまいりました。

1 記念事業の実施状況

(1) 記念事業の目的

当局では、①水道事業を支えていただいた市民に感謝し、市民の皆様とともに記念事業を実施する、②記念事業を通じて更なるお客さま満足度の向上を目指す、③「次世代に引き継ぐヨコハマのおいしい水」をアピールする、の3項目を目的として掲げ、記念事業を実施してまいりました。

(2) 記念事業の実施概要

この結果、水道施設見学会には38,444人の市民の皆様に参加していただくとともに、「菊名ウォータープラザ」のオープンにあたりましては、子供から大人まで地域の多くの皆様にご参加いただき、地域に支えられた開設ができました。さらに、「小学生を対象とした水をテーマとした絵画コンクール」には2,300点を超える応募が寄せられるなど、記念事業合計で約86,000人もの多数の市民等の皆様にご参加をいただきました。

(3) 各記念事業の実施状況

これまでに実施しました14事業の概要は次のとおりです(詳細につきましては、4頁「近代水道創設120周年記念事業一覧」のとおりです)。

ア 記念イベントの実施

(ア)横浜美術館「水の情景—モネ、大観から現代まで展」への特別協力
美術館と共催で、5月に「水源で写す、水の情景—道志村深訪&撮影ツアー」を、6月に水道週間フェアを実施。

(イ)小学生を対象とした水をテーマとした絵画コンクールの開催

市内在住・在学の小学生を対象に「水」、「水道」をテーマにした絵画作品を募集。応募総数2,323点。各区別に応募作品の展示を実施。

(ウ)横浜の水源・道志村との絆を深める「ミツバツツジ」の記念植樹

道志村との友好交流を深めていく契機とするため、西谷浄水場内に道志村で親しまれている「ミツバツツジ」を植樹。保土ヶ谷区制80周年記念事業と連携。

(エ)近代水道創設120周年記念講演会等の開催

水道事業への理解を深めていただくため、大山のぶ代さんによる「水」をテーマにした講演等を開催。併せて、絵画コンクールの表彰・作品展示等を実施。

(オ)（社）日本水道協会総会の開催

全国の水道事業者が集まり、水道事業の課題等を討議、また、総会初の試みとして、市民が参加できる講演会を開催。

イ 施設の完成・開設

(カ)導水路案内板設置事業

近代水道創設当時の水源地から野毛山配水池までの約4.4kmに及ぶ導水路に水道の歴史を盛り込んだ案内板を22か所設置。

(キ)三井用水取入所跡整備事業

横浜水道創設当時の原水取入所であり、近代水道百選にも選ばれた貴重な遺構である、三井用水取入所跡の土砂流入防止工事等の整備を実施。

(ク)水道局菊名庁舎「愛称：菊名ウォータープラザ」の完成

光触媒カーテンウォール散水システムによる冷房効率のアップ等、環境に配慮するとともに、全国初の試みである民間との協働による水まわりの相談コーナーを設置するなど、水の総合産業を目指した庁舎を開設。

(ケ)水質課水質試験室見学コースの設置

水質検査の精度・管理の向上を図るため水質試験室の改修を実施するとともに、その改修にあわせて、実際の検査の様子を見ることができる見学コースを新たに設置。

(コ)水道記念館展示再整備事業

水道に関する市民の理解を深めていただくため、展示物のリニューアルを実施。

(サ)小雀6号配水池の完成

小雀浄水場内の高台に建設した6号配水池の外壁に、市民の皆さまに親しみを持っていただけるようなタイルデザインを施し、上部を展望台としても活用できるようにしました。

ウ 施設の見学

(シ)施設見学会の充実

道志水源かん養林や水道記念館の見学のほか、水道創設時の歴史に触れていただく市民見学会を実施。

(ス)「横浜の水の歴史をたどるお茶の会」の開催

横浜水道の歴史をたどりながら、「はまっ子どうし」で入れたお茶の会を催し、おいしい横浜の水をPR。

エ その他

(セ)水道事業PRビデオの制作

近代水道の歴史、水道の仕組みや新しい水道の施策など安全でおいしい水をPRするビデオを制作。

タイトル『…いつもそばに ～ヨコハマのおいしい水～』 放映時間15分

(4) アンケート調査の実施

記念講演会等では、お客さまを対象としたアンケート調査を実施し、「安全でおいしい水」や「地震災害に強い水道」など、当局の今後の事業運営に対する貴重なご意見をいただいています。

2 記念事業を踏まえた今後の事業運営について

記念事業を通じて、水道事業は多くの市民の皆様理解され、支えられて今日に至っていることを改めて確認することができました。今後も引き続きこのような市民の皆様からの信頼に応えられるよう、日本の水道事業のパイオニアとしての役割を果たすとともに、お客さま満足経営を更に推進してまいります。

また、老朽化した施設の更新・耐震化を積極的に進めるなど、安全でおいしい水を安定して供給するという水道事業の使命を着実に達成するため、全力で取り組んでまいります。

近代水道創設120周年記念事業一覧

No.	資料	事業名	実施日	事業概要
			参加者数	
1	(ア)	横浜美術館「水の情景－モネ、大観から現代まで展」への特別協力 (会場: 横浜美術館(西区みなとみらい))	平成19年4月21日から 平成19年7月1日まで 38,845人	横浜美術館が主催する水をテーマとした「水の情景－モネ、大観から現代まで展」に特別協力し、美術館と共催で5月に「水源で写す、水の情景－道志村探訪&撮影ツアー」、6月に「水道週間フェア」を行いました。
2	(カ)	導水路案内板設置事業 (設置場所: 相模原市、大和市、横浜市)	平成19年8月～10月 —	水源地から野毛山配水池までの約44Kmにおよぶ導水路に、水道の歴史を盛り込んだ案内板を22ヶ所設置しました。
3	(キ)	三井用水取入所跡整備事業 (所在地: 相模原市津久井町三井)	平成19年5月～9月 —	横浜水道創設当時の原水取入所であり、近代水道百選にも選ばれ貴重な遺構である、三井用水取入所跡の土砂流入防止工事等の再整備を行いました。
4	◎ (ク)	水道局菊名庁舎 「愛称: 菊名ウォータープラザ」の完成 (所在地: 港北区大豆戸町)	平成19年9月2日 約3,000人	光触媒カーテンウォール取水システムによる冷房効率のアップ・屋上緑化等、環境に配慮するとともに、全国初の試みである民間との協働による水まわりの相談コーナーを設置するなど、水の総合産業を目指した庁舎を開設しました。
5	(セ)	水道事業PRビデオの制作 「…いつもそばに ～ヨコハマのおいしい水～」	平成19年9月完成 —	近代水道の歴史、水道のしくみや安全のための取組、新しい水道の施策など、歴史と現代の水道局の事業を伝え、安全でおいしいヨコハマの水をPRするビデオを制作しました。(放映時間15分)
6	(シ)	施設見学会の充実 (見学場所: 川井浄水場(旭区上川井町)・青山水源事務所(相模原市津久井町)ほか)	平成19年4月～11月 38,444人	道志水源かん養林、水道記念館、各浄水場などの見学のほか、水道道を市民の皆さまに歩いていただき、水道創設時の歴史に触れていただく施設見学会を実施しました。
7	◎ (ケ)	水質課水質試験室見学コースの設置 (所在地: 西谷浄水場(保土ヶ谷区川島町))	平成19年10月 —	西谷浄水場内にある水質課水質試験室を、水質検査の精度・管理の向上を図るための改修にあわせて、実際の検査の様子を見ることが出来る見学コースを新たに設置しました。
8	◎ (コ)	水道記念館展示再整備事業 (所在地: 西谷浄水場(保土ヶ谷区川島町))	平成19年10月 —	水道に関する市民の理解を深めていただくため、水道記念館を「水道と市民のふれあいの場」として活用できるよう、展示物をリニューアルしました。
9	(イ)	小学生を対象とした水をテーマにした絵画コンクールの開催 (対象: 市内在住・在学の小学生)	平成19年10～11月 2,323人	市内在住・在学の小学生を対象に「水」や「水道」をテーマにした絵画作品を募集し、120周年記念講演会にて表彰と入賞作品の展示を行いました。また、各区において、応募作品の展示を行いました。(一部、今後実施の区もあります。)
10	◎ (ウ)	横浜の水源・道志村との絆を深める 「ミツバツツジ」の記念植樹 (会場: 西谷浄水場(保土ヶ谷区川島町))	平成19年10月25日 約110人	道志村との友好・交流を深めていく契機とするため、西谷浄水場内に、道志村で人生の記念樹として親しまれている「ミツバツツジ」を120本植樹しました。(保土ヶ谷区制80周年と連携)
11	○ (エ)	近代水道創設120周年記念講演会等の開催 (会場: はまぎんホール ヴィアマーレ(西区みなとみらい))	平成19年10月28日 427人	水道事業への理解を深めていただくため、ドラえもんの声でおなじみの大山のぶ代さんによる「水」をテーマにした講演やグラスを使った楽器「グラスハーブ」の演奏会を開催しました。また、あわせて絵画コンクールの表彰・作品展示等を行いました。
12	○ (オ)	(社)日本水道協会総会の開催 (会場: パシフィコ横浜 国立大ホール)	平成19年11月7～9日 約2,400人	(社)日本水道協会の主催する全国総会を横浜で開催し、水道事業の諸問題に関する討議が行われました。また、全国からの参加者に横浜の魅力に触れていただくとともに、総会初の試みとして、市民に自由に参加していただける講演会を開催しました。
13	(ス)	「横浜の水の歴史をたどるお茶の会」の開催 (会場: 横浜開港資料館、野毛山配水池ほか)	平成19年11月11日 39人	日本最初の近代水道として始まった横浜水道の歴史をたどりながら、道志川の清流水「はまっ子どうし」で入れた紅茶を市民の皆さまに味わっていただき、おいしい横浜の水をPRしました。
14	◎ (サ)	小雀6号配水池の完成 (所在地: 小雀浄水場(戸塚区小雀町))	平成19年11月29日 約350人	小雀浄水場内の高台に建設した6号配水池の外壁に、市民の皆さまに親しみを持っていただけるようなタイルデザインを外壁に施し、上部を展望台としても活用できるようにしました。
参加者数計			85,938人	

◎ 水道・交通委員会委員長及び委員に出席いただいた事業

○ 水道・交通委員会委員長に出席いただいた事業

小学生を対象とした水をテーマにした絵画コンクール

市長賞



作品名:みんなで使う大切な水

高学年の部 荏田東第一小学校4年 新部 綾香



作品名:みずのおしろ

低学年の部 城郷小学校1年 吉田 優花

導水路案内板設置事業



三井用水取入所跡整備事業



小雀6号配水池



- 配水池の構造：地上円形プレストレスト・コンクリート構造
(貯水容量：10,000 m³、有効水深：5.5m、内径：48.2m、外径：48.84m、高さ：12.5m)
- ドーム屋根：アルミパネル 567 枚、直径 45.8m、高さ 6.4m、重量 23.5 t